

貸出金の状況

貸出金残高

5,390億円

貸出金の期末残高は、伴走型営業を通じた金融支援やローンセンターによる住宅ローンの推進等により、前期比 7.12%増加の 5,390 億円と 13 期連続で増加しました。

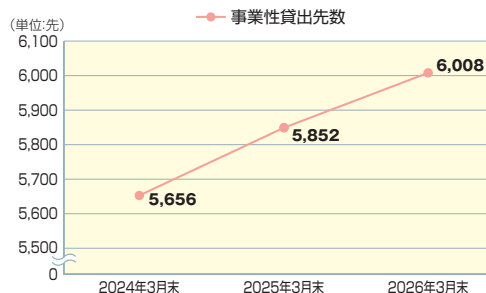
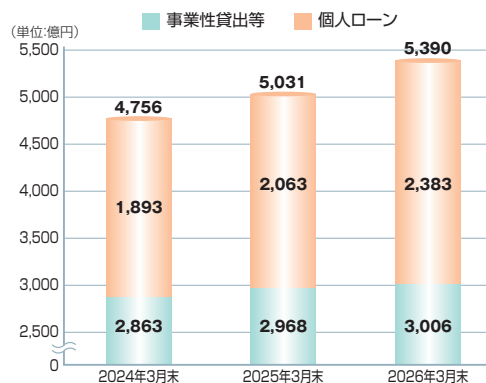
事業性貸出先数

6,008先

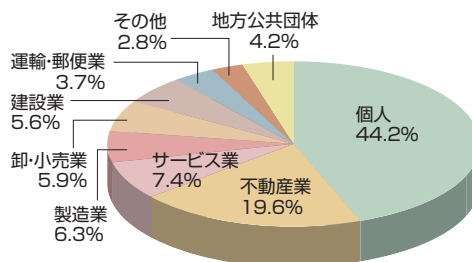
事業性の貸出先数は、本業支援を軸とした継続的な営業活動により、年間 156 先増加の 6,008 先となりました。

貸出金業種別残高構成比

地域貢献のバロメーターである貸出金の 95.7% は、個人やさまざまな業種の中小企業をはじめ地域のお客様に幅広くご利用いただいています。



※事業性貸出先には、地方公共団体、金融機関向け貸出を含んでいません。



預金積金の状況

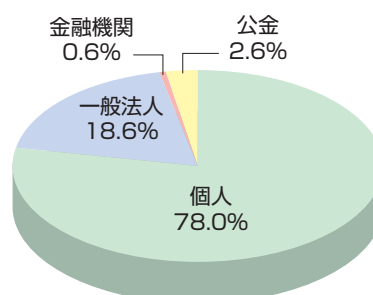
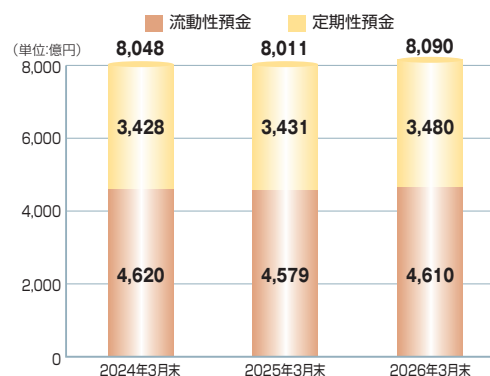
預金積金残高

8,090億円

預金積金の期末残高は、給与・年金振込やインターネットバンキングの推進に加え、創立 100 周年を記念した「創立 100 周年記念定期預金」等の取扱いにより、前期比 0.99%増加の 8,090 億円と 3 期ぶりに増加しました。

預金者別預金残高構成比

地域のお客様からの信頼・信用のバロメーターである預金の 96.6%は、個人や一般法人のお客様にお預入れいただいています。

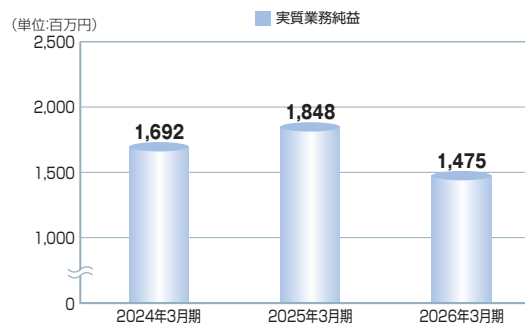


損益の状況

実質業務純益

14億円

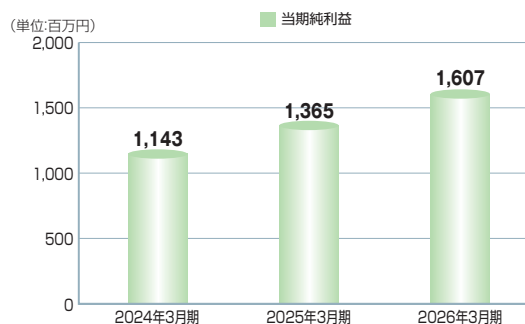
本業の収益を示す実質業務純益は、貸出金利息収入や有価証券利息配当金等が増加したものの、預金利息費用や経費等の増加により、前期比 20.18% 減少の 14 億 75 百万円となりました。



当期純利益

16億円

当期純利益は、前期比 17.73% 増加の 16 億 7 百万円となりました。



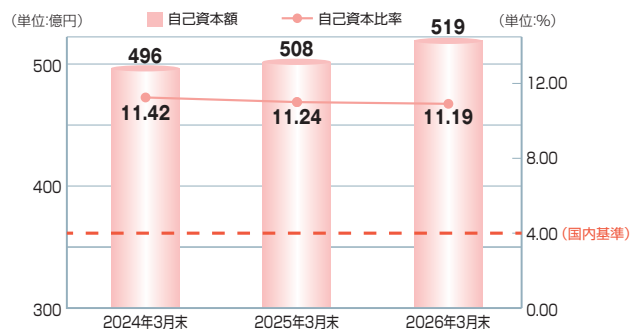
自己資本の状況

自己資本比率

自己資本額

11.19% 519億円

自己資本額は、前期比 2.11% 増加の 519 億円となりましたが、貸出金残高増加に伴いリスク・アセット等も前期比 2.58% 増加したことにより、自己資本比率は、前期比 0.05 ポイント低下の 11.19% となりました。国内業務のみを行う金融機関に必要とされる基準 4% (規制値) を大幅に上回っており、健全性に問題はありません。



不良債権の状況 (金融再生法ベース)

不良債権比率

不良債権額

3.17% 171億円

不良債権額は、事業再生支援への取組みにより、前期比 15 億円減少の 171 億円となりました。また、正常債権が増加したことにより、不良債権比率は前期比 0.52 ポイント低下の 3.17% となりました。なお、不良債権は、担保や貸倒引当金等により適切な保全を図っており、備えは万全です。

